

名護労働基準監督署発表

令和4年7月11日

【照会先】

名護労働基準監督署監督・安衛課

課長 大城 悠葵

労働基準監督官 中野 哲太郎

電話：0980-52-2691

労基署・建災防合同建設現場パトロールの実施について

名護労働基準監督署（署長 ^{かわみつ ひであき} 川満 秀明）では、第95回全国安全週間期間中の令和4年7月6日、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に留意の上、建設業労働災害防止協会沖縄県支部北部分会（以下「建災防北部分会」）と共に、北部地区の建設現場に対する合同パトロールを実施しました。

名護地方合同庁舎にて行われた出発式では、建災防北部分会長挨拶、名護労働基準監督署長挨拶が行われました。

署長挨拶では、「北部地区における建設業の休業4日以上労働災害が増加傾向にあり、3年連続で過去最多を更新しそうな状況にあること、現場における熱中症予防対策」などの説明、及び注意喚起を行いました。



（分会長あいさつの様子）



（署長あいさつの様子）

出発前には参加者全員で第95回全国安全週間のスローガン「安全は 急がず焦らず怠らず」を指差唱和しました。



(指差唱和の様子 ※荒天のため、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた上で室内にて執り行いました)

その後、3班に分かれ、1班及び2班は名護市内の建設現場、3班は今帰仁村内の建設現場をパトロールしました。

パトロールでは、現場内を巡視しながら、事故につながるおそれのある箇所や不安全行動について現場代理人等に説明し、改善を求めました。また、熱中症予防対策の実施を要請しました。

名護労働基準監督署では、今後も建災防北部分会と協力し、建設業の労働災害防止に向けた取り組みを継続してまいります。